

藍住町 議会だより

第36号

平成16年2月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前52-1

電話 (088) 637-3127

FAX (088) 637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp/gikai/index.htm>



豆まき（西幼稚園）

CONTENTS

定例会

p 2 厚生常任委員会・町民の声 p 9

一般質問

p 4 議会のうごき p 10

12月 定例会

12月定例会が12月10日から18日までの9日間の会期で開会された。

平成15年度一般会計補正予算など14議案と議員提案の意見書1件を原案のとおり可決した。

また、議員提案の請願書1件については採択された。

町長提案

- 平成14年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定について 原案可決
- 平成15年6月25日解散に伴う平成15年分鳴門市・藍住町環境施設組合一般会計歳入歳出決算の認定について 原案可決
- 平成15年度藍住町一般会計補正予算について 原案可決
- 平成15年度藍住町特別会計（国民健康保険事業・老人保健事業・介護保険事業・藍寿苑介護サービス事業）補正予算について 原案可決
- 藍住町個人情報保護条例の制定について 原案可決
- 藍住町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について 原案可決
- 藍住町法定外公共用財産管理条例の制定について 原案可決
- 藍住町情報公開条例の一部改正について 原案可決
- 特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について 原案可決
- 藍住町教育委員会委員の任命について 矢野幸一
- 藍住町西クリーンステーション煙突補修工事の請負契約の締結について 原案可決

議員提案

- 2004年の年金改悪に反対し、大増税の中止を求める意見書について 原案可決
- 2004年の年金改悪に反対し、大増税の中止を求める請願書 採 択

町民委員会

10月に設置要綱を制定し、委員には識見を有する町民の方12名を委嘱した。第1回会議においては、審議事項として「藍住町行財政改革大綱素案」及び「実施計画素案」を示し、概要説明を行った。

今後、町民委員会としての意見取りまとめの日途を1月末として、答申を行うことを決定している。

南海・東南海地震が想定される今日、地震対策は重要な避難施設となる藍住小学校体育館について、地域要施策の一つであり、地域住民の避難施設となる藍住は、本年度に耐震診断を行ふべく、計画を見直した。

学校施設の改修

町からの主な報告

主な補正

教育費

藍住中学校の耐震補強設
計等の委託料1,400万円を減額。

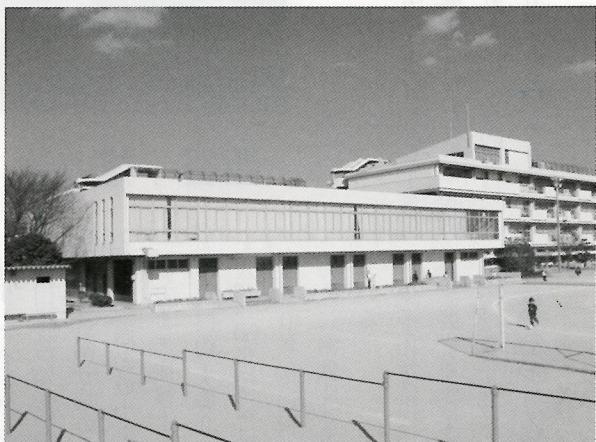
南小学校体育館の耐震診
断委託料500万円。

土木費

大規模公園管理費で修繕費
工事費に460万円増額。
町営住宅の施設修繕費に
765万円を増額。

衛生費

合併浄化槽の設置補助金
に約670万円。
西クリーンステーション
管理費で不燃物処理委託料
等に1,322万円を増額。



南小学校体育館

平成15年度 12月補正予算(会計別)の状況

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	8,884,500	35,500	8,920,000
特別会計	老人保健事業	1,955,375	△3,201
	介護保険事業	1,315,776	69,186
	藍寿苑介護 サービス事業	334,338	12,259

平成14年度 一般会計決算額

(単位:千円)

会計	歳入	歳出
一般会計	89億6,735万3	86億3,279万8

平成15年 第5回臨時会

11月27日の臨時会において、次の4議案を原案のとおり可決した。

- 平成15年度藍住町一般会計補正予算の専決処分を報告し、承認を求めるについて 原案可決
- 藍住町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について 原案可決
- 常勤特別職の給与に関する条例の一部改正について 原案可決
- 職員の給与に関する条例の一部改正について 原案可決

町政ここが聞きたい

議員4人が一般質問



西谷 修 議員

減少し、合計特殊出生率が、
人口維持に必要な2・08を
大幅に割り込み、1・33と
なり、過去最小を記録した。
このまま推移すると、現在
の人口約1億2,000万人
人が、50年後には1億人に、
100年後には6,700
万人に激減すると予測され
ている。

少子化対策は、まさに緊急を要する重要な政治課題である。少子化は、15歳から64歳のいわゆる生産年齢人

口の減少をもたらし、労働力不足から経済成長を妨げる。また、少子化はその裏返として、社会の高齢化を意味し、現役世代の年金、社会保障費の負担を増大させるなどの問題も発生させることになる。つまり、急速な少子化による若年層の激減は、社会の基盤を根底から揺り動かすことになり、既にそうした傾向は少しずつ現れてきている。今こそ少子化に歯止めを掛け

ないと、日本の将来に多大な悪影響を及ぼすことは明らかであり、国家国民のために未来をしっかりと見据えて、必要な分野に十分な予算を配分すべきであると考える。そこで、少子化の歯止め策の一つとして、子どもを安心して産み育てられる環境をつくることは、行政にとって特に重要な分野である。

また、今や国民病とも言える深刻な実態になつてい

る花粉症やアトピー性皮膚炎、気管支ぜんそく等のアレルギー性疾患に悩む乳児も年々増える一方で、治療費が家計を圧迫しているのが現実である。せめて、いつ起ころか予想のつかない病気に関して、経済的な不安が無く治療が出来るよう、積極的な支援をすべきである。

そうした背景を踏まえて、私どもは、厳しい町の財政状況を考え、これまでも本

子育て支援の充実について

いたい。
厚生労働省の2001年
人口動態統計によると、昨
年生まれた子どもの数は、
前年より1万9,882人

減少し、合計特殊出生率が、人口維持に必要な2・08を大幅に割り込み、1・33となり、過去最小を記録した。このまま推移すると、現在の人口約1億2,000万人が、50年後には1億人に、100年後には6,700万人に激減すると予測されている。

口の減少をもたらし、労働力不足から経済成長を妨げる。また、少子化はその裏返として、社会の高齢化を意味し、現役世代の年金、社会保障費の負担を増大させるなどの問題も発生させることになる。つまり、急速な少子化による若年層の激減は、社会の基盤を根底から揺り動かすことになり、既にそうした傾向は少しずつ現れてきている。今こそ少子化に歯止めを掛け

ないと、日本の将来に多大な悪影響を及ぼすことは明らかであり、国家国民のために未来をしっかりと見据えて、必要な分野に十分な予算を配分すべきであると考える。そこで、少子化の歯止め策の一つとして、子どもを安心して産み育てられる環境をつくることは、行政にとって特に重要な分野である。

また、今や国民病とも言える深刻な実態になつてい

る花粉症やアトピー性皮膚炎、気管支ぜんそく等のアレルギー性疾患に悩む乳児も年々増える一方で、治療費が家計を圧迫しているのが現実である。せめて、いつ起ころか予想のつかない病気に関して、経済的な不安が無く治療が出来るよう、積極的な支援をすべきである。

そうした背景を踏まえて、私どもは、厳しい町の財政状況を考え、これまでも本

会議等で訴えてきた。

町の財政が厳しい状況であることも十分承知しているが、現在の3歳未満までの無料化を就学前まで、15年度、16年度で段階的に所得制限を撤廃していくべきと思う。

慎重に検討していく

現在の乳幼児医療費助成制度では、県補助2分の1により行っており、3歳以上の無料化については全額町費負担となる。県の医療費助成制度について、県では県内全市町村にアンケート調査を行い、当町は現行制度の拡大を希望すると回答した。拡充に対してもは県の動向及び本町の財政状況を踏まえ、慎重に検討していきたい。

環境体験学習及び地球環境問題について

自然との触れ合いなどを通じて環境問題への取り組みや、自然との共生の大切さを体感する環境体験学習が広がりを見せる中で、環境省は来年度から、体験学習に携わる「指導者の育成」などに本格的に乗り出すことになった。

環境省が来年度から着手する環境体験学習分野の事業は大きく分けて2つある。

第一は、今年の通常国会で成立し、10月に施行された「環境保全・環境教育推進法」に基づいて、民間団体などが実施している環境教育の人材育成・認定制度に、国がお墨付きを与える「登録制度」を推進して広く情報提供していく事業。

これによって、専門的な知識や経験を持つ有能な指導者を広く活用出来る環境を整えることが出来る。

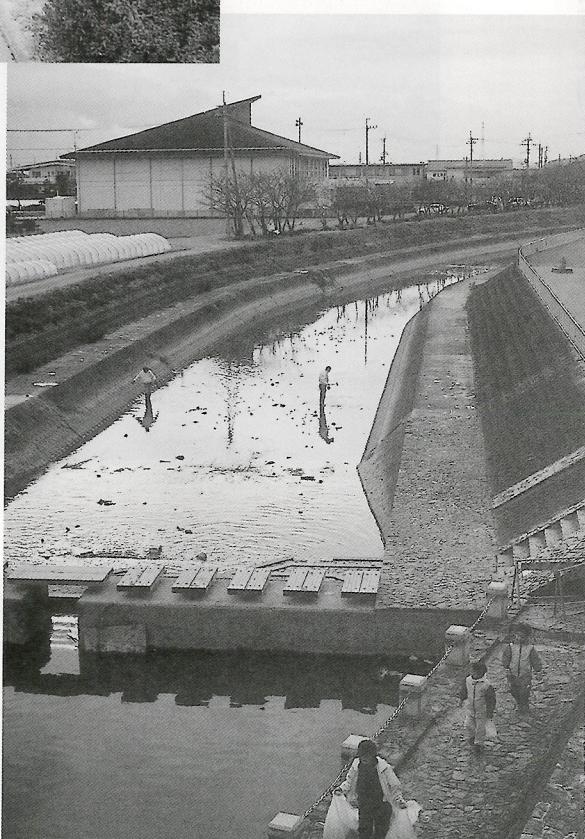
第二の事業は、「環境体験学習を推進する指導者の育成」である。環境体験学習は地球環境問題を始め、身近な自然との触れ合い、

ごみ・リサイクル問題など多様な分野にまたがっている。今後、体験学習が浸透していくけば、学校や地域などで体験学習に携わる指導者に対する効果的な学習が出来るよう支援する指導者の育成が重要となつていい。

本町において学校や地域などで体験学習に携わる指導者に対する効果的な学習が出来ているのか。



藍住中学校生徒による清掃活動
(正法寺川周辺)



正法寺川を考える会（正法寺川）

人材育成が重要

環境体験学習には指導に当たる教師の正しい環境教育への理解と指導者の養成が大切に

なってくる。また、地域における環境体験学習のコーディネーターも必要であると思われる。今後、国・県と連携をして環境教育への支援と共に、地域での取り組みに関しても支援をしていきたい。



喜田敏夫 議員

そんな中で石川町長はただ一人「第十堰改築に可動堰を選択肢から外すべき」との発言をしているが、真意はどうか。

可動堰にこだわるべきでない

インフルエンザ予防接種が高すぎる

徳島市や鳴門市では1回1,500円で出来るのに藍住町で1回3,800円と周辺地域に比べて2倍以上上の差があるのは何故か。補助金の格差の問題はないのか。

それぞれの病院で料金を決定

インフルエンザ予防接種の料金については、医療の場合は診療点数により金額が決まってくるが、インフルエンザ予防接種は医療でな

いため決まった金額は無い。それぞれの病院で接種料金を決めているため、地域や病院により個々に差が生じているのが現状である。

補助金については65歳以上の人を対象に、1,000円の補助を本町は行っている。

第十堰改築事業について

流域市町の首長で構成する「第十堰改築促進期成同盟」が飯泉知事になつてまことに、「可動堰推進」の動きが活発になつてきていいの。

吉野川の災害対策として位置づけるならば、可動堰を選択肢に入れると結論を出すまでに再び長い時間と労力を要することは明白だと思う。その結論が遅れる程、町民にとって不安が募ることも予想されるので、この際、可動堰にこだわるべきではない。ただ、堰の老朽化が非常に著しい事実もあり、一日も早い現堰の抜本的な改築をお願いした。

行財政改革大綱は弱い者イジメ

石川町長は平成15年度の

施政方針演説の中で行財政改革を急ぐと言つておきながら、今日まで何ら提言がない。

12月10日に行財政改革大綱並びに改革実施計画の素



第十堰

改革のスタートを切ることが最優先

行財政改革については、取り組み事項のほとんどが平成16年度を実施目標年度としている。このため条例改正や住民周知のための諸準備を進め、これを反映した平成16年度予算編成を行わなければならぬ。

保育所の運営方法や一般競争入札、ごみの有料化等の具体的な問題については、町民委員会等でも議論、協議をしているが、結論には至っていない。

学校給食での身近な食材の使用は、地域の農産物を知る契機となるので、出来る限り県内や町内で生産された食材を活用出来るよう今後とも努力していく。

小学校全児童に警報フマーを配布

たい。

各地で推進の方向だが、今後の取り組みについて尋ねたい。

健康・福祉

国民健康づくり運動「健 康日本21」が推進、健康増進法も施行されている。健



健康相談（保健センター）

正法寺川及び周辺の環境対策、環境教育の取り組みについて伺いたい。

河川環境 浄化施設により水質浄化

大量生産・大量消費は次世代に受けを残す。ゴミの現状、増加傾向への減量化対策について尋ねたい。

ゴミ問題

教育現場の安全・安心な環境の整備、運営については、給食器への変更、各施設の改修・補修等、施設設備の充実が図られているが、今後の計画について。

また学校給食での地産地消の推進は、安全な食材の調達、食育、地元農業の活性化にも役立つと言われ、各地で推進の方向だが、今後の取り組みについて尋ねたい。

教育環境の整備



西岡恵子 議員

康増進計画並びに受動喫煙防止について尋ねる。

税収が伸びず財政が厳しい時こそ町民の幸せを願つての福祉施策が問われる。

現状と今後の取り組み、また少子高齢化対策・子育て支援対策についてはいかがですか。

高額医療費の払い戻しへの対応については、その後どのようにか。

子育て支援のための拠点を住吉児童館に建設

男女共同参画社会実現に向けての今後の取り組み、女性センターの管理運営体制の見直しが示されているが、これは国・県の推進計画と逆行、真意を伺いたい。

施しては、毎月一回定期的に通知しているが、未申請者には翌年一括して再度通知をしていく。

第十堰問題についての町

第十堰

施しては、民意に添った形で早く結論が出て、より良い河川整備計画が策定されることを期待している。

第十堰問題についての町

長の考え、また治水＝治山と言われ、緑の公共事業も推進されている今日、吉野川流域構造での「緑のダム」支援についてどう取り組まれるのか。

堤防の早期強化

第十堰問題については、民意に添った形で早く結論が出て、より良い河川整備計画が策定されることを期待している。

下水道工事について、一般財源からの投入が予測、費用対効果を考え、本町にあつた汚水処理対策が必要ではないか。

新汚水処理構想策定

汚水処理対策については基礎調査を十分行い、町の現況と課題を把握する中で、県及び関係首長と協議、連携し、藍住町新汚水処理構想を策定したい。

下水道計画

を策定中。

住民一体となつたごみの減量化対策が出来るよう具体的取り組み等を含め検討したい。



森 たけし 議員

内容は児童福祉手当の削減、学校給食と保育所の調理業務の民間委託、敬老年金の削減、幼稚園の特別保育料金の引き上げ、し尿汲み取り料金の2.5倍化、ゴミ収集有料化、粗大ゴミの有料化等、福祉の後退と住民負担強化であり、いずれも町民にとって重大問題である。今、町民委員会で審議を進めていると聞くが、藍住町行財政改革実施計画は町民の同意を得ながら慎重に進めるよう提言する。

費を設置者の負担としているのも、行政責任の一つの現れである。民間委託は学校給食を民間企業の儲けの道具にすることであり、安全や衛生面の管理は今より不十分となるであろうし、利潤追求のために加工食品や冷凍食品など安上

がりの食材が使用される懸念もある。学校給食の本来の姿を歪め、またアトピー児への対応など生徒の健康を考えるなら民間委託はすべきではない。

今日の財政状況を考える時、民営化や有料化、使用料等の見直しについては避けて通れない。

他市町村でも有料化を実施

ゴミ収集有料化

ゴミ収集有料化についてほとんどの町民は反対である。そもそも地方公共団体の仕事は社会福祉、公衆衛生の向上、増進に責務を持ち、町民に対し衛生的で快適な生活環境を作ることに責任がある。そのため町民は税金を納め、行政に委ねているのである。

学校給食は教育目的を達成するため、同法が給食の施設、設備の要する経費も含めて納めており、

その中で処理をすべきである。ゴミ処理の有料化は目的税であり、慎重に審議を進めるべきである。行政サービスも金次第としてはならない。



学校給食調理室

学校給食民間委託

な発達を目的とし、第二条で教育の目的を実現するため位置付けされている。

学校給食は教育目的を達成するため、同法が給食の施設、設備の要する経費も含めて納めており、

学校給食は、学校給食法第一条で生徒の心身の健全全



厚生常任委員会

12月18日、厚生常任委員会を開催した。

住吉子育て支援のための拠点施設新築工事について住吉児童館へ現場視察を行った。

總体質問

行財政改革大綱並びに行財政改革実施計画の中身については、何をどうするのかが全く見えてこない。曖昧な内容でなく、町民に明確にすべきではないか。

行財政改革の計画期間としては、平成16年度から平成20年度までの5箇年計画とし、実施計画期間を3箇年、定期的に毎年進行管理を行い、見直しをしていくことを基本方針としている。この実施計画や行財政改革大綱は素案の段階であり、平成16年度から実施に移すよう検討中。

今後、住民への説明、理解等を得ながら、行財政改革を進めていく。

陳情

3件の陳情があり、議場で資料が配付された。

▼電気設備工事・管設備工事の分離発注推進のお願い

陳情者：社団法人徳島県設備協会 会長：西野公夫
▼国立病院の独立行政法人化にあたり、賃金職員の雇用継続と医療・看護体制の拡充、院内保育所の継続を求める陳情書

陳情者：徳島県医療労働組合連合会 執行委員長：見田治
▼有事関連法の発動と自衛隊の海外派兵に反対する陳情書

陳情者：徳島県労働組合総連合 議長：見田治

町民の声

乙瀬 井上 常男

積極的な行財政改革を望む

石川町長は、町長就任以来、度々行財政改革断行を強調されています。これについて昨年6月以来町議会側から、その改革はどうなっているのか、との質問がついているのか、とに對する町理事者側の答弁は、私たちには分かり難い抽象的な説明でありましたが、結論としているのが、行財政改革案作りが終り、取り敢ず現在までの成果は、町職員の定年を従来からの63歳から60歳への引

き下げと、町職員の通勤車両の庁舎施設内の駐車に、月額1千円の有料制にしたといわれます。これについて一部でその評価がなされていましたが、定年制については、遅きに失したとの声もあります。というのは、国や県の公務員の定年は、20数年前から、58歳～60歳だからです。それに比べると本町職員は非常に優遇されています。

今、わが国は、長引く不況で多くの人は厳しい生活を強いられています。また、

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関するご意見をお寄せ下さい。

町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関するご意見をお寄せ下さい。

以上

本町は、現在百億円余の借金財政であり、忽ちこの償還のめどもなく、国からの交付金等も減らされるのは確実です。

町財政の建て直しには緊縮財政以外にはないと思われます。町は、旧来のしがらみなどにとられず、民間企業経営に倣い新しい発想で改革に挑み、町民の理解が得られる行財政改革の実現に努めて頂きたい。

投稿規定

- 一、住所・氏名・電話番号を明記
- 二、掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。
- 三、字数は五〇〇字以内
- 四、投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

議会のうごき

11月

- 1日 福祉・健康づくりの町フ
エスティバル
- 2日 藍ラブフェスティバル
- 3日 各種功労者表彰式
- 5日 板野郡町議会議長会第4回定例会
- 7日 議会だより編集委員会
- 9日 藍住町身体障害者ふれあい大会
- 11日 戰没者追悼式
- 12日 第6回板野郡町議会議員研修会
- 14日 岩手県滝沢村議会視察来
庁（健康福祉）
- 20日 吉野川第十堰に係る御意
見を聞く流域の会
- 20～22日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 26日 兵庫県一宮町議会視察來
府（幼保一元化）
- 27日 第5回臨時議会
- ラバン 現自治体・議会要請キャラ
ン
- 2003秋・県民要求実
現議会運営委員会
- 2003秋・議会要請キャラ
ン

1月

- 28日 23日 11日 10日 出初式 成人式
- 27日 回定例会
- 26日 板野郡町議会議長会第1
回定例会
- 25日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 24日 第5回臨時議会
- 23日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 22日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 21日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 20日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 19日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 18日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 17日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 16日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 15日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 14日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 13日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 12日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 11日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 10日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 9日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 8日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 7日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 6日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 5日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 4日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 3日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 2日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修
- 1日 第47回町村議会議長全国
大会・板野郡町議会議長
会視察研修

12月

- 27日 板野西部青少年補導セン
ター組合議会定例会
- 28日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 27日 板野西部青少年補導セン
ター組合議会定例会
- 26日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 25日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 24日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 23日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 22日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 21日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 20日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 19日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 18日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 17日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 16日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 15日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 14日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 13日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 12日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 11日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 10日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 9日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 8日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 7日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 6日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 5日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 4日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 3日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 2日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会
- 1日 藍翠苑祭 板野東部消防組合議会第
2回臨時会

定例会案内

次の定例会は3月です。
次号は5月に発行します。

お問い合わせ
議会事務局 ☎ 637・3127

本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。

なお、傍聴席の定員には限り
がありますのでご了承下さい。



昔あそび（北小学校）

議会だより 編集委員会

- 委員長 喜田敏夫
副委員長 西岡恵子
委員 永浜茂樹
委員 西谷修
委員 古川義夫

歴史的にも藍住町は文化の香り高い町である。二〇〇七年国民文化祭の成功を中心から期待する。

国民文化祭は、各地方の文化を公開しその個性を表現し、一般の批評を仰ぐと共に地方の文化を向上させ容である。（広辞苑）

秋には徳島で開かれることになっている。文化とは、衣食住を初め技術・学問・芸術・道徳・宗教など物心両面にわたる生活形成と内容である。

第一回国民文化祭は東京で開催された。二〇〇七年秋には徳島で開かれることになっている。文化とは、衣食住を初め技術・学問・

編集後記